

【基本指標番号】		【抽出区分】					
総務省承認	No.23041	事務所	出張所	農	家	経営組織	農業地域
承認期限	平成15年3月31日まで						



農林水産省

農業構造動態調査 農家調査票

(平成15年1月1日現在)

この調査は、農業を取り巻く諸情勢が著しく変化する中で、農家の農業生産構造及び就業構造の実態を把握し、これからの農政に必要な基礎資料とすることを目的として実施しています。

この調査から得られる調査結果は、外に漏らしたり課税等の資料には絶対にいたしませんので、是非ありのままをお答えください。ご協力をよろしくお願いします。

なお、記入には濃い黒えんぴつを使用し、下記の記入例を参考にしてください。

【○の記入例】

①	2
---	---

【数字記入例】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---



記入は濃い
黒えんぴつで

お宅の住所
世帯主の氏名
電話番号

調査員氏名：

電話番号：

本調査についてご意見・ご要望があればご記入ください。

【基本指標番号】

事務所	出張所	農 家

【1】世帯員

1 世帯員数について記入してください。

お宅の世帯員（一緒に生活している人）は何人ですか。

現在、出稼ぎなどのために家にいなくても、ふだん一緒に生活している人は世帯員としてください。

進学や就業のためよそに住んでいる子弟は除いてください。

		男 (人)	女 (人)
前年	110		
本年	111		

そのうち、満14歳以下の世帯員は何人ですか。
(昭和63年1月1日以降に生まれた人)

		男 (人)	女 (人)
前年	120		
本年	121		

2 満15歳以上の世帯員（昭和62年12月31日までに生まれた人）

について記入してください。

この1年間（平成14年1月～12月）の

（日数の数え方は、1日8時間とし、

なまえ 〔満15歳以上の人 (昭和62年12月31日 までに生まれた人) だけ記入します。〕	世帯員 コード	年 齢 (平成15年1月1日現在の満年齢)	同 居 している		男 女 別 男 女 ↓ ↓	世 帯 主 と の 続 柄 ↓	農業経営上の地位 〔複数いる場合は代表者に○〕 農業経営についての責任者 ↓ 農業経営の責任者の配偶者 ↓ 農業経営の後継者 (予定者を含みます) ↓ 農業後継者の配偶者 ↓	自 営 農 業 に従事した日数 〔お宅で経営している農業への従事日数と農作業を請け負った日数及び受託組織の構成員としてオペレーター作業に従事した日数を合わせたものです。〕								
			平成14年1月1日現在	平成15年1月1日現在				1 30 60 100 150 200 250 0 〃 〃 〃 〃 〃 〃 日 29 59 99 149 199 249 以上 日 日 日 日 日 日 日								
			④	⑤				⑧								
①	②	③ (歳)	該当者を○で囲みます		どちらかを○で囲みます	該当者番号を記入	該当者のみ一つを○で囲みます	一つを必ず○で囲みます								
			1	1	1 2		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8								
			1	1	1 2		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8								
			1	1	1 2		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8								
			1	1	1 2		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8								
			1	1	1 2		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8								
			1	1	1 2		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8								
			1	1	1 2		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8								
			1	1	1 2		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8								

世帯員コード
世帯員コードは、集計の際に用いるコードですので変更しないでください。

年齢について
年齢が分からない場合は右上の年齢早見表をご覧ください。
99歳以上の人は、すべて99と記入してください。

（世帯主との続柄）
該当する番号を記入してください。

1	世 帯 主	5	兄 弟 姉 妹
2	世帯主の配偶者	6	祖 父 母
3	子供（子供の配偶者を含む）	7	孫（孫の配偶者を含む）
4	親	8	その他（叔父母、従兄弟、甥姪等）

世帯上の地位について

農業経営についての責任者

男女を問わず、農業経営の全般について中心になっている人のことです。判断できない場合は、農業経営資金の借り主、農業共済・農業口座の名義人等とします。

農業経営の後継者

満15歳以上の者で、次の代に農業経営を継承することが確認されている者としてします。

【満年齢早見表】（99歳以上の人は、すべて99と記入してください。）

90歳代		80歳代		70歳代		60歳代		50歳代		40歳代		30歳代		20歳代		10歳代	
生年	年齢	生年	年齢	生年	年齢	生年	年齢	生年	年齢	生年	年齢	生年	年齢	生年	年齢	生年	年齢
明治36	99	大正元	89	大正12	79	昭和8	69	昭和18	59	昭和28	49	昭和38	39	昭和48	29	昭和58	19
37	98	2	89	13	78	9	68	19	58	29	48	39	38	49	28	59	18
38	97	3	88	14	77	10	67	20	57	30	47	40	37	50	27	60	17
39	96	4	87	15	76	11	66	21	56	31	46	41	36	51	26	61	16
40	95	5	86	昭和元	75	12	65	22	55	32	45	42	35	52	25	62	15
41	94	6	85	2	75	13	64	23	54	33	44	43	34	53	24		
42	93	7	84	3	74	14	63	24	53	34	43	44	33	54	23		
43	92	8	83	4	73	15	62	25	52	35	42	45	32	55	22		
44	91	9	82	5	72	16	61	26	51	36	41	46	31	56	21		
45	90	10	81	6	71	17	60	27	50	37	40	47	30	57	20		
		11	80	7	70	17	60	27	50	37	40	47	30	57	20		

働いた状況について記入してください。

半日ずつ働いたら2日で1日とします。)

[illegible]

⑨のいずれかに○印がある場合のみ記入します。

3 お宅では、家としての所得は自営農業と自営農業以外のどちらが主ですか。

		自営農業	自営農業以外
前年	130	1	2
本年	131	1	2

4 お宅の農業経営を法人化していますか。

なお、農家以外の自営業や参加している協業経営体が法人になっている場合は該当しません。

(一つを○で囲みます。)		法人化している	法人化していない
前年	140	1	2
本年	141	1	2

【基本指標番号】

事務所	出張所	農	家

【2】 土地

記入上の注意

- ・この土地には、土地台帳の地目や面積ではなく、現在の地目と面積を記入してください。
- ・面積には、けい坪も含めた面積を記入してください。（設問5を除く。）
- ・他の市区町村にある土地も含めて記入してください。

1 田の面積を記入してください。

		前 年			本 年		
		(町)	(反)	(畝)	(町)	(反)	(畝)
		ha		a	ha		a
お宅で所有している田は (原野化したもの等、現況が農地でないものを除きます。)	211						
うち、他に貸している田は (経営を委託している田を含みます。)	212						
うち、耕作を放棄した田は (過去1年以上作付せず、 今後も作付をする考えのない田)	213						
他から借り入れている田は (経営を受託している田を含みます。)	214						
田の経営耕地 (211 - 212 - 213 + 214)	215						

2 樹園地の面積を記入してください。

(普通畑や牧草地を除きます。)

		前 年			本 年		
		(町)	(反)	(畝)	(町)	(反)	(畝)
		ha		a	ha		a
お宅で所有している樹園地は (原野化したもの等、現況が農地でないものを除きます。)	221						
うち、他に貸している樹園地は (経営を委託している樹園地を含みます。)	222						
うち、耕作を放棄した樹園地は (過去1年以上作付せず、 今後も作付をする考えのない樹園地)	223						
他から借り入れている樹園地は (経営を受託している樹園地を含みます。)	224						
樹園地の経営耕地 (221 - 222 - 223 + 224)	225						

3 畑の面積を記入してください。

(牧草専用地を含み、樹園地は除きます。)

お宅で所有している畑は
(原野化したもの等、現況が農地でないものを除きます。)

うち、他に貸している畑は
(経営を委託している畑を含みます。)

うち、耕作を放棄した畑は
(過去1年以上作付せず、今後も作付をする考えのない畑)

他から借り入れている畑は
(経営を受託している畑を含みます。)

畑の経営耕地
(231 - 232 - 233 + 234)

		前 年			本 年		
		(町)	(反)	(畝)	(町)	(反)	(畝)
		ha		a	ha		a
231							
232							
233							
234							
235							

4 過去1年間に使用した施設の面積を記入してください。

(水稻の育苗だけ、又は、きのこ栽培だけに使った施設は除きます。)

施設とは、ビニールハウス、ガラス室などの施設で、その中で普通の姿勢で作業できるものをいいます。

		前 年		本 年	
		m ²		m ²	
241					

5 販売目的で作付けた水稻の作付面積を記入してください。

(作付のべ面積を記入してください。けい畔は含めません。)

販売目的として作付けたものを一部自給向けにした場合は、自給分も含めた面積を記入してください。

		平成12年産水稻			平成13年産水稻		
		(町)	(反)	(畝)	(町)	(反)	(畝)
		ha		a	ha		a
251							

用語の説明

耕作を放棄した田、樹園地、畑

耕作を放棄した田、樹園地、畑とは、過去1年以上作付け（肥培管理）しないで、今後も作付けする意思のない土地をいいます。
なお、長く放置され、既に原野となったものは含めません。

経営耕地

所有面積から貸付面積と耕作放棄地を差し引き、借り入れ面積を加えた面積が、経営耕地面積となります。

【基本指標番号】

事務所	出張所	農 家

【3】 農作業の請負・請け負わせ

1 平成14年産水稻作の請け負わせについて記入してください。

(経営を委託したものは耕地の貸付けとなり、ここには含めません。)

(該当するものすべてに○をつけてください。)

		作業別に請け負わせた						
		すべての作業を 請け負わせた	育 苗	耕 起・ 代かき	田 植	防 除	稲刈り・ 脱穀	乾 燥・ 調製
前年	310	1	1	1	1	1	1	1
本年	311	1	1	1	1	1	1	1

すべての作業とは、「育苗」、「耕起・代かき」、「田植」、「防除」、「稲刈り・脱穀」、「乾燥・調製」のすべてをいいます。

2 平成14年産水稻作の請け負い面積を記入してください。

(経営を受託したものは耕地の借入となり、ここには含めません。)

			前 年			本 年			どんな形で 請け負いましたか (どちらかを○で囲みます)	
			(町)	(反)	(畝)	(町)	(反)	(畝)	個人で	受託組織な どの仕事で
			ha		a	ha		a		
すべての作業を請け負った	--	全作業	321						1	2
作業別に請け負った		育 苗	322						1	2
		耕起・ 代かき	323						1	2
		田 植	324						1	2
		防 除	325						1	2
		稲刈り・ 脱穀	326						1	2
		乾燥・ 調製	327						1	2

3 過去1年間の農作業の請け負いによる料金収入を記入してください。

(該当する番号を必ず一つ○で囲みます。)

		収入														
		なし	一 五 万 円 未 満	一 五 〇 〇 万 円	五 〇 〇 〇 万 円	一 〇 〇 〇 万 円	二 〇 〇 〇 万 円	三 〇 〇 〇 万 円	五 〇 〇 〇 万 円	七 〇 〇 〇 万 円	一 〇 〇 〇 万 円	一 五 〇 〇 万 円	二 〇 〇 〇 万 円	三 〇 〇 〇 万 円	五 〇 〇 〇 万 円	一 億 円 以 上
前年	330	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
本年	331	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

水稻作以外の農作業の請け負いによる料金収入も含めた合計を記入してください。

【4】農産物の販売

1 過去1年間の農産物の販売金額(粗収益)の合計は

どれくらいですか。

(畜産物、菌、栽培きのこも含まれます。)

(該当する番号を必ず一つ○で囲みます。)

		販売金額(万円)														
		販売なし	一五万円未満	一五〇万円	一〇〇万円	二〇〇万円	三〇〇万円	五〇〇万円	七〇〇万円	一〇〇〇万円	一五〇〇万円	二〇〇〇万円	三〇〇〇万円	五〇〇〇万円	一億円以上	
前年	410	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
本年	411	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

2 過去1年間の農産物の部門別販売金額の順位とその割合はどれくらいですか。

(過去1年間に農産物の販売のある農家のみ記入してください。)

総販売金額に対する割合を記入してください。

どの部門の販売金額(粗収益)が多かったか、1位、2位、3位の部門に○印をつけてください。
同じ割合の場合には作付面積の多い方を上位にしてください。

		前 年				本 年			
		1位	2位	3位	割	1位	2位	3位	割
水 稻 ・ 陸 稻	421	1	2	3		1	2	3	
麦 類	422	1	2	3		1	2	3	
雑穀・いも類・豆類	423	1	2	3		1	2	3	
工 芸 農 作 物 (たばこ、茶、さとうきびなど)	424	1	2	3		1	2	3	
露 地 野 菜	425	1	2	3		1	2	3	
施 設 野 菜	426	1	2	3		1	2	3	
果 樹 類 (露地及び施設栽培)	427	1	2	3		1	2	3	
花 き ・ 花 木 (露地及び施設栽培)	428	1	2	3		1	2	3	
そ の 他 の 作 物 (芝、種苗、栽培きのこ類など)	429	1	2	3		1	2	3	
酪 農	430	1	2	3		1	2	3	
肉 用 牛 (肉用として飼っている乳用種を含みます)	431	1	2	3		1	2	3	
養 豚	432	1	2	3		1	2	3	
養 鶏 (ブロイラーを含みます)	433	1	2	3		1	2	3	
養 蚕	434	1	2	3		1	2	3	
そ の 他 の 畜 産 (養蜂を含みます)	435	1	2	3		1	2	3	

【基本指標番号】

事務所	事務所	農 家			

総務省承認	No. 23042
承認期限	平成15年 3月31日まで

【基本指標コード】(職員記入欄)



農林水産省

事務所 番 号	事 業 体 番 号	抽 出 階 層				
コード 区 分	調査対 象区分	標 本 区 分	組 織 形 態	協 業 経営体	設 立 年 次	主 部 門
0						

農 業 構 造 動 態 調 査

農家以外の農業事業体調査票

(平成15年1月1日現在)

この調査は、新たな農業の担い手として期待される農業法人等の農業生産構造及び就業構造に関する動向を把握し、農政の企画・立案、推進等に必要な基礎資料とすることを目的として実施しています。

この調査で得られる調査結果を外に漏らしたり課税等の資料に用いることは、法律で固く禁止されていますので、是非ありのままをお答えの上、同封の返信用封筒にて返送願います。

調査票の記入に関してご不明な点がございましたら、下記の問い合わせ先までご連絡願います。

事業体名:	
記入された方のお名前:	
連絡先:電話番号	FAX番号

問い合わせ先

--

本調査についてのご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

--

太線の枠の中を記入してください。
 ■の部分に出力されているのは、前年値(平成14年調査値)です。記入する際の参考としてください。
 (今回、初めて調査にご協力いただく事業体につきましては、前年値欄は空欄となりますが、ご容赦ください。)

【1】土地についておしえてください。(平成15年1月1日現在)

1 田の土地面積を記入してください。(転作田を含みます。)

	前年値	(町)	(反)	(畝)	
	ha	a	ha	a	
他に貸付けている田、耕作放棄した田も含みません。	事業体が所有している田	111			
期間借地(二作以上した田で、一作分だけ借りたもの)は含みません。	他から借り入れている田	112			

2 樹園地の土地面積を記入してください。

	前年値	(町)	(反)	(畝)	
	ha	a	ha	a	
果樹、茶、桑などを1a以上まとめて肥培管理しているものをいいます。	事業体が所有している樹園地	121			
	他から借り入れている樹園地	122			

3 畑の土地面積を記入してください。

(牧草地を含みます。)

	前年値	(町)	(反)	(畝)	
	ha	a	ha	a	
他に貸付けている畑、耕作放棄した畑も含みません。	事業体が所有している畑	131			
期間借地(二作以上した畑で、一作分だけ借りたもの)は含みません。	他から借り入れている畑	132			

【2】過去1年間に事業体を使用した施設の面積を記入してください。

	前年値	m ²	m ²
施設とは、ビニールハウス、ガラス室などの施設で、その中で普通の姿勢で作業できるものをいいます。水稻などの育苗だけに使ったものは除きます。	200		

【3】過去1年間に、水稻、麦類、大豆、飼料作物のいずれかを作付けしましたか。

作付けした品目の面積を記入してください。

	前年値	(町)	(反)	(畝)
	ha	a	ha	a
デントコーン、牧草等の作物の作付延べ面積を記入してください。自家仕向用のものを含みます。ただし、放牧地や牧草専用地の面積は除きます。	水 稻	301		
	麦 類	302		
	大 豆	303		
	飼料作物	304		

【4】事業体が飼養している家畜の頭(羽)数を記入してください。(平成15年1月1日現在)

(ブロイラーは、過去1年間の出荷羽数を記入してください。)

	前年値	頭(羽)	万	千	百	頭(羽)
脱乳中の牛、種牛、将来脱乳する予定の子牛も含みます。	乳 用 牛	401				
子取り用めす牛、肉用として飼っている乳用種も含みます。	肉 用 牛	402				
子取り用めす豚も含みます。	豚	403				
種卵用を含みます。	採 卵 鶏	404				
過去1年間に肉用として出荷した羽数を記入してください。	ブロイラー	405				

【5】農作業従事者数についておしえてください。

過去1年間に農作業を行った人数を日数別に記入してください。

目安として、1日は8時間とし、半日ずつ働いたら2日で1日とします。

事務管理に従事した人も含みます。

		前年値		男(人)		前年値		女(人)	
1～29日	511					512			
30～59日	521					522			
60～99日	531					532			
100～149日	541					542			
150～199日	551					552			
200～249日	561					562			
250日以上	571					572			

【6】農作業の請け負いについておしえてください。

1 過去1年間の農作業の請け負いによる料金収入の合計を○で囲んでください。

請負料金として受け取った額の合計です。経費を差し引いた所得のことではありません。

収入なし	一五万円未満	一五〇万円	五〇万円	一〇〇万円	二〇〇万円	三〇〇万円	五〇〇万円	七〇〇万円	一〇〇〇万円	一五〇〇万円	二〇〇〇万円	三〇〇〇万円	五〇〇〇万円	一億円	一億円以上
前年値	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
610	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

2 過去1年間に請け負った水稲作作業の面積を作業種類別に記入してください。

	前年値	(町)	(反)	(畝)
	ha	a	ha	a
育苗から乾燥調製まで一貫請け負いました。	全作業請負	620		
苗代の面積ではなく、その苗を植えた面積です。10a当たり植付枚数から逆算した概数値で結構です。	(部分的に請け負った作業)			
	育 苗	621		
	耕起・代かき	622		
	田 植	623		
同じほ場で2回以上防除した場合は、1回分の面積だけ記入してください。	防 除	624		
	稲刈り・脱穀	625		
乾燥・調製した米が作付けされていた面積です。10a当たり収量から逆算した概数値で結構です。	乾 燥・調 製	626		

事務所番号	事業体番号

【7】農産物の販売についておしえてください。

1 過去1年間の農産物販売金額(粗収益)の合計を○で囲んでください。

農産物の売上額の合計です。経費を差し引いた所得のことではありません。

	販 売 な し	一 〇 〇 万 円 未 満	一 〇 〇 〃 三 〇 〇 万 円	三 〇 〇 〃 五 〇 〇 万 円	五 〇 〇 〃 一 〇 〇 〇 万 円	一 〇 〇 〇 〃 三 〇 〇 〇 万 円	三 〇 〇 〇 〃 五 〇 〇 〇 万 円	五 〇 〇 〇 万 〃 一 億 円	一 〃 三 億 円	三 〃 五 億 円	五 億 円 以 上
	前年値										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
710	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

2 過去1年間の農産物販売金額の中で、金額が多かった順に1位から3位まで部門を○で囲み、総販売金額に対する割合を記入してください。

(割合が同じ場合は、作付面積の多い方を上位にしてください。)

		前 年 値									
		1位	2位	3位	割	1位	2位	3位	割		
青刈り稲を飼料用等に販売したものは除きます。	→	水 稻 ・ 陸 稻	721	1	2	3		1	2	3	
		麦 類	722	1	2	3		1	2	3	
たばこ、茶、さとうきび、てんさい、なたね、オリーブなどが該当します。らっかせいは「雑穀・いも類・豆類」に入れてください。	→	雑穀・いも類・豆類	723	1	2	3		1	2	3	
		工 芸 農 作 物	724	1	2	3		1	2	3	
種苗類やきのこ類は施設栽培したものであってもここには含めず、「その他の作物」に入れてください。	→	露 地 野 菜	725	1	2	3		1	2	3	
		施 設 野 菜	726	1	2	3		1	2	3	
芝、種苗・苗木、飼料用作物、栽培きのこ類などが該当します。	→	果 樹 類 (露地及び施設栽培)	727	1	2	3		1	2	3	
		花 き ・ 花 木 (露地及び施設栽培)	728	1	2	3		1	2	3	
肉用として販売した乳用種を含みます。	→	そ の 他 の 作 物	729	1	2	3		1	2	3	
		酪 農	731	1	2	3		1	2	3	
ブロイラーを含みます。	→	肉 用 牛	732	1	2	3		1	2	3	
		養 豚	733	1	2	3		1	2	3	
馬、めん羊、やぎ、うさぎ、うずら、はちみつ、繭などが該当します。	→	養 鶏	734	1	2	3		1	2	3	
		そ の 他 の 畜 産	735	1	2	3		1	2	3	

総務省承認	No. 23043
承認期限	平成15年 3月31日まで

【基本指標コード】(職員記入欄)



農林水産省

事務所 番 号	事 業 体 番 号	抽 出 階 層		
レコード 区 分	調査対 象区分	標 本 区 分	組 織 形 態	設 立 年 次
0				

農 業 構 造 動 態 調 査

農業サービス事業体調査票

(平成15年1月1日現在)

この調査は、新たな農業の担い手として期待される農業サービス事業体の農業生産構造及び就業構造に関する動向を把握し、農政の企画・立案、推進等に必要な基礎資料とすることを目的として実施しています。

この調査で得られる調査結果を外に漏らしたり課税等の資料に用いることは、法律で固く禁止されていますので、是非ありのままをお答えの上、同封の返信用封筒にて返送願います。

調査票の記入に関してご不明な点がございましたら、下記の問い合わせ先までご連絡願います。

事業体名:	
記入された方のお名前:	
連絡先:電話番号	FAX番号

問い合わせ先

--

本調査についてのご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

--

太線の枠の中を記入してください。
 □の部分に出力されているのは、前年値(平成14年調査値)です。記入する際の参考としてください。
 (今回、初めて調査にご協力いただく事業体につきましては、前年値欄は空欄となりますが、ご容赦ください。)

【1】事業体の概要についておしえてください。

1 事業体は農家集団ですか。農家集団の場合は構成農家数を記入してください。

農作業に参加していない農家であっても、構成農家の一員になっていれば構成農家数に含めます。

農家集団ではない

農家集団である

100

1

2

101

戸

(いずれかを○で囲んでください。)

2 農作業を請け負った地域のうち、主な範囲と最も遠かった範囲をそれぞれ○で囲んでください。

		農業集落内	旧市区町村内	市区町村内	都府県内(支庁内)	都府県外(支庁外)
主 な 範 囲	前年値	1	2	3	4	5
	121	1	2	3	4	5
最 遠 方 範 囲	前年値	1	2	3	4	5
	122	1	2	3	4	5

【2】農作業の請負料金収入についておしえてください。

1 過去1年間の農作業の請け負いによる料金収入の合計を○で囲んでください。

水稲作以外の作業を含めた請け負わせ側から受け取った料金の合計です。
 (経費を差し引いた所得のことではありません。)

前年値	15万円未満	15～50万円	50～100万円	100～200万円	200～300万円	300～500万円	500～700万円	700～1千万円	1千～1500万円	1500～2千万円	2千～3千万円	3千～5千万円	5千万円～1億円	1億円以上
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
210	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

2 過去1年間の農作業請負料金収入の中で、金額が多かった順に1位から3位まで部門を○で囲み、請負料金収入の合計に対する割合を記入してください。

割合が同じ場合は、請負面積が大きい方を上位にしてください。

		前 年 値							
		1位	2位	3位	割	1位	2位	3位	割
水 稲 作	221	1	2	3		1	2	3	
麦 作	222	1	2	3		1	2	3	
大 豆 作	223	1	2	3		1	2	3	
飼料作物	224	1	2	3		1	2	3	
そ の 他	225	1	2	3		1	2	3	

【3】事業体の作業従事者についておしえてください。

1 過去1年間に農作業に従事した人数を日数別に記入してください。

目安として、1日は8時間とし、半日ずつ働いたら2日で1日とします。
水稲作以外の作業や事務管理に従事した人も含みます。

前年値			男（人）		前年値		女（人）	
1～29日	311				312			
30～59日	321				322			
60～99日	331				332			
100～149日	341				342			
150～199日	351				352			
200～249日	361				362			
250日以上	371				372			

2 過去1年間に水稲作作業で機械を操作した人数を日数別に記入してください。

目安として、1日は8時間とし、半日ずつ働いたら2日で1日とします。

前年値			(人)	
1～9日	301			
10～29日	302			
30～59日	303			
60～99日	304			
100日以上	305			

【4】 水稻作の作業請負についておしえてください。

事務所番号	事業体番号

- 1 過去1年間に、育苗から乾燥・調製までの全作業を一貫して請け負った水稻作作業について記入してください。

全作業を請け負った戸数 戸		請け負った実面積 (町) ha	
前年値			
411		412	

事業体が農家集団の場合は、事業体の農作業に全く従事しない構成農家分を含めて記入してください。

- 2 過去1年間に請け負った水稻作作業のうち、部分請負作業について記入してください。

(1) 水稻作作業を部分的に請け負った戸数を記入してください。

部分作業を請け負った戸数 (実戸数) 戸	
前年値	
420	

事業体が農家集団の場合は、事業体の農作業に全く従事しない構成農家からの請負分を含めて記入してください。

(2) 請け負った戸数と実面積を作業種類別に記入してください。

同じ圃場で同じ作業を2回以上行った場合は、1回分の面積だけ記入してください。

		請負戸数 戸		請負面積(実面積) (町) ha	
部 分 作 業 の 種 類	育 苗	前年		前年	
		431		432	
	耕起・代かき	前年		前年	
		441		442	
	田 植	前年		前年	
		451		452	
	防 除	前年		前年	
		461		462	
	稲刈り・脱穀	前年		前年	
		471		472	
	乾 燥・調 製	前年		前年	
		481		482	

苗代の面積ではなく、植え付けた面積を記入してください。
10a当たりの植え付け枚数等から逆算した概数値で結構です。

乾燥・調製した米が作付けされていた面積を記入してください。
10a当たりの収量から逆算した概数値で結構です。